

寺 報

No.595

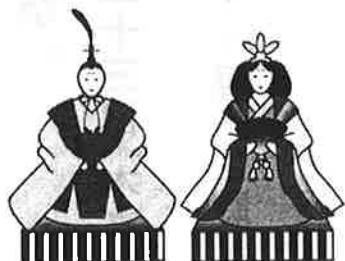
平成29年3月

蓮華寺
發行

御聖訓

女人にょにんは夫盗人おつとぬすびとなれば女人盗人にょにんぬすびととなる。夫善人ぜんにんなれば女人にょにんとなる。今生こんじょうのみならず後生ごじょうも夫おつとによるなり。

『棧敷女房御返事』



(解説)

この世で不思議なご縁があり、夫婦となった二人が、この日蓮大聖人のお言葉のように、夫の振舞により妻は善人にも悪人にもなってしまうのです。ですから、夫婦はお互いがお互いを宝と思い、また命をかけて守ろうとする気持ちがあれば、それは素晴らしいものとなるでしょう。でも、中々現実はそのいきません。まして、どちらかに先立たれた後では、「ああ、元氣なうちに、もつと大事にしてあげれば良かったなあ。」と思うものです。しかし、いつまでも悔やんでいては、お互いに仏様の心が芽生えません。我々には法華経とお題目があります。亡き人を供養する事によって、離れ離れになった二人の心がしっかりと信仰で結ばれるのです。皆様が相手の事を思えば、相手も皆様の事を必ず思うようになるのです。どうか、毎日ご本尊様に向い、生死に関わらず、相手の幸せを祈るようにしていきましょう。

『春彼岸会』『星祭』 十七日(金)・二十日(月)・二十三日(木)

水 行・・・昼十二時半
大本堂前

法 要・・・午後一時
大本堂

法 話・・・約十分間

番	十七日	加藤上人
当	二十日	對馬上人
話	二十三日	住職上人
法		



②『春彼岸会』と『星祭』の法要は三日間ですが、先祖供養は、残り四日間『朝のお勤め』の中で読み上げさせて戴きますので、ご安心下さい。
なお、合わせて星(劍守札)もご祈祷します。

法要次第

- 一、勸請(導師が唱えます)
- 一、開經偈(無上甚深微妙の)
- 一、お経(漢字読み)

〔序品第一〕方便品第二〔如来寿量品第十六〕
〔自我偈〕〔如来神力品第二十一〕觀世音菩薩普門品第二十五〔咒陀羅]

- 一、御祈祷(法樂加持)
- 一、御妙判(如説修行鈔)
- 一、お題目(南無妙法蓮華經)
- 一、宝塔偈(此經難持)
- 一、星祭祈願(導師が唱えます)
- 一、お経(自我偈・漢字読み)
- 一、お題目(南無妙法蓮華經・僧侶は供養の読上)
- 一、彼岸回向(導師が唱えます)
- 一、四誓(衆生無辺誓願度)
- 一、お題目三唱

【法話・・・約十分間】

②ご祈祷のお経は速く読みますので、ご了承下さい。

以上

お寺からのお知らせ

*先祖供養(一週間)・・・八百円

お彼岸の先祖供養は、お彼岸前に申し込みますと、一週間、またその後申し込んだものでも、「彼岸明け」まで供養を続けさせて戴きます。
どうか、ご供養は出来るだけ、お彼岸前日迄にお申し込み下さい。

*追 膳(一週間)・・・三千五百円

お彼岸の追膳は『位牌堂』、三階『永代供養堂』、また、お預かりの『お骨』に一週間上がりします。
「彼岸入り」以降のお申し込みも受け付けますが、期間中、一日だけという(特定の日)の受付はしておりませんので、ご了承下さい。
また、追膳は数に限りがありますので、お早目にお申し込み下さい。

*劍守札(星)【一休・二百円】

②星(劍守札)のお申し込みは、専用の申込書にお名前と性別・生年月日をお書きの上、お早目にお申し込み下さい。なお、宗派は問いません。

お彼岸の意義

お彼岸の一週間は、皆様がご先祖様を敬い、亡き人に供養の誠をささげると共に、自分自らが懺悔滅罪し善根を積み、仏道に精進する期間であるという事も忘れてはいけません。

日蓮宗でいいます「彼岸」とは、他宗のように遙か彼方に浄土を求める事ではなく、我々が住むこの現実の世界を幸福と喜びのあふれた浄土にしていく事であり

ます。
人は、悩みを離れて悟りを得る事は出来ません。現実には悩み苦しむ毎日の生活の中で、常に仏様の教えに従い、仏様に生かされながら生きているという感謝の念を持って精進していかねばならないのです。
当山の『春彼岸会』には『星祭』の行事も合わせて行います。

皆様もこの点を踏まえまして、一週間の内、法要は三日間ですので、どうかお寺に足を運び、一緒に法華経・お題目の修行をしようではありませんか。
頑張りましょう。

「星」(劍守札)を 申し込みましょう!

当山では『星祭』の期間中、一週間、皆様のご家族のお名前と性別・数え年を記入しました「星」(劍守札)をお祈りして、その年の善星が皆来し、悪星が退散し、一年間無事安泰でありますようにと祈願します。

その為に、大荒行・壱百日間の修行を終えました僧侶が、十七日の彼岸の入り・二十日の中日・二十三日の明けの三日間、水行をし心身を清めてから、ご祈禱をします。

「星」はいわゆる「日曜星」土曜星の七曜星に、太陽と月をささげる「羅喉星」、彗星である「計都星」を加えました『九曜星』を、皆様の年令と性別によって配当していきます。

それで、我々はその年の自分の運勢を知り、これを元に行動し、更に法華経・お題目の信仰を持つ事によって、より一層安心した人生を送れるのです。

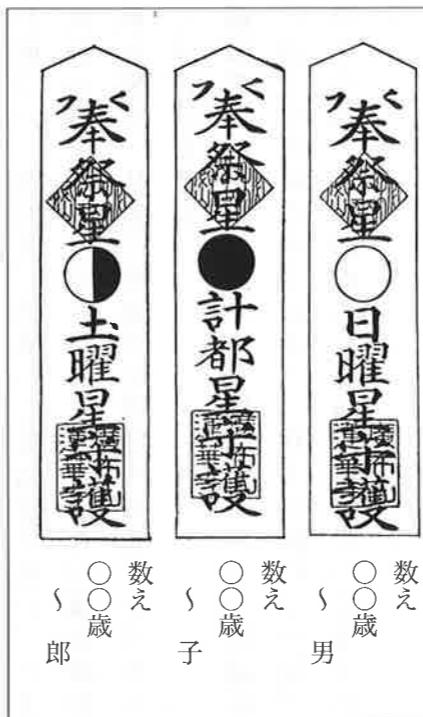
どうか、檀信徒の皆様は是非とも毎年この「星」(劍守札)をお申し込みになりますようにお願いいたします。また、新規のお申し込みもよろしく願います。

星(劍守札)のまつり方

お寺より「星」を戴きましたら、そのままにして置かないで、必ず厚紙に貼り、各自の数え年と名前を書き、自宅の御寶前か仏壇の下の方にお祈りして、毎朝拝むようにして下さい。

また、昔より仏間のカモイに張る家庭もあります。とにかく、一年間大事にお祈りする事が大事です。

平成二十九年度星祭



※なお、五枚まで貼れる専用の台紙も、五十円で事務所にて販売しております。

三月十三日(月)

午後一時より

場所…大本堂

えはんねそんしゃく 会繁涅槃尊釈



*お釈迦様がお亡くなりになられました、祥月命日の日です。

*十三日講のお勤めの中で、一緒に執り行います。

*お供物をお受けします。

靈断

檀信徒の皆様で、何か困り事や悩み事がありましたら、迷わずに蓮華寺までご相談下さい。

日蓮宗に伝わる秘法『九識靈断法』にて当山僧侶が解決、ご指導致します。宗旨宗派は問いません。

『位牌壇』募集中!

*お寺に『位牌壇』がありますと、毎朝必ずお題目が唱えられますので、皆様の御先祖や仏様が今後代々に渡り守られています。

*御命日の時、旅行や所用などで不在でも、ご予約戴ければ『位牌壇』の前に追膳をお上げし、またお経もお上げ致します。

*青森では冬期間お墓参りが出来ませんので、『位牌壇』がありますと常にお参りが出来ます。

『聖徒団会員』募集!

毎月ついたちの「盛運祈願会」の中で、任職上人が各会員の『家内安全』をご祈願致します。

その他、大本堂御寶前のお花・皆様にお配りする新聞【聖徒タイムズ】・寺報等の援助に活用致します。

会費：年額二、四〇〇円(月二百円)

三月の行事

一日(水) 盛運祈願会 午後一時より

- ・お守り【霊神符】の交換の日です。
- ・自ら進んでお勤めに参加し、お経を唱えましょう。
- ・聖典(お経本)と数珠は必ずご持参下さい。
- ・蓮華寺檀信徒の方は、必ず【霊神符】をお持ち下さるようお願い致します。



十三日(月) 日蓮大聖人のご命日 午後一時より

- ・お経 如来神力品第二十一(訓読・日本語読み)
- 如来寿量品第十六(真読・漢字読み)
- ・皆様も日蓮大聖人さまの御報恩を忘れずに参拝し一緒にお経・お題目を唱えましょう。

十三日(月) 釈尊涅槃会 午後一時より

『春彼岸会』・『星祭』【三日間】
十七日(金)・二十日(月)・二十三日(木)

【水行】 昼〇時半より
【法要】 午後一時より

☆奉仕のお知らせ

十五日(水) 星祭の準備 男女共・午前十時より

*星祭の祭壇、水行等の準備

十七日(金)【彼岸入り】 男女共・午前十時より

二十日(月)【彼岸中日】 男女共・午前十時より

二十三日(木)【彼岸明け】 男女共・午前十時より

⑨『春彼岸会・星祭』の行事は三日間ですので、ご奉仕とご参拝は日程・時間をお確かめの上、お願いします。

また「水行」のお手伝いは、人手が沢山必要ですので、一日でも多くご奉仕下さい。

特に二十三日(木)は星祭のお札を渡す日ですので是非ともご協力をよろしくお願いします。

⑧『お彼岸の追膳』のお手伝いは従来通り一週間、朝【午前六時〜七時半頃迄】夕【午後三時〜五時頃迄】です。お手伝い出来ます方は時間までご集合下さい。

⑨お寺のお手伝い希望の方は、教宣部員以外でも歓迎します。どうぞ時間までご集合下さい。

- ◎奉仕部長 山田兼補
- ◎伝道部長 小野正春
- ◎教宣部長 杉淵昌三

☆『永代供養塔』のご供養

境内に安置しています『永代供養塔』『水子観音像』『動物供養塔』の(春彼岸供養)は、三月二十日(月)の午前十時三十分より、住職上人がご回向しますので、ご一緒に参拝出来る方は、時間までにお越し下さい。

☆今月まで、檀信徒研修会はお休みとなります。

「寒修行」終了す

本年、一月五日から二月二日までの二十九日間に渡り行われました「寒修行」は、皆様のご協力により無事終了する事が出来ました。

今年には予報に反し大雪となりませんでした。寒さは非常に厳しく、参拝者には正に寒中の修行で大変だったようですが、それでも多くの皆さんが頑張つて参加してくれました。

本来、修行とは誰の為でもなく、自分の為に行うものですが、その僧俗一体となり一心に修行しているお姿は、正に異体同心、ご本仏様そのもののお姿でした。

どうか来年度からは、いまだ参加した事のない方々も「寒修行」に参加してみてください。

まず、何よりも実行してみる事が大切です。

なお、今般も法務ご多忙の中、導師を勤めてくれました住職・加藤・對馬・埴・角田の各上人に於かれましては、誠に有り難うございました。

また、参加された皆様も、どうもご修行ご苦勞様でした。

『春彼岸会』『星 祭』

三月

十七日 (金)・二十日 (月)・
二十三日 (木) の三日間

水 行・・・昼十二時半より 大本堂前



水 行



妙見菩薩

法 要・・・午後一時より 大本堂

法 話・・・約十分間 法要終了後

(先祖供養、追膳、星【剣守札】は受付中)

* 『水行・法要』は彼岸の入り・中日・明けの三日間で
すので、檀信徒の皆様もご注意の上、ご参拝下さい。
なお、ご供養は残り四日間「朝のお勤め」の中で御回
向します。